

こんだてだより

迎春



新年あけましておめでとうございます。
本年も皆様にとって
素晴らしい一年になりますよう
お祈り申し上げます。



～おせち料理～

おせちは、正月に家族の幸せや健康を願って食べる祝い料理で、縁起の良い品々が少しずつ盛りつけられます。

- 蒲鉾・・・紅白の色で縁起を担ぎ、初日の出を思わせる形から新年の始まりを祝う意味が込められています。
- 寿厚焼き玉子・・・卵の黄色を金色に見立てて金運や繁栄を願い、「寿」の文字には長寿や祝いの意味が込められています。
- 黒豆・・・「まめに働く」「健康で長寿を願う」「邪気を払う」といった意味が込められています。
- なます・・・紅白の水引を表す色合いから「一家の平和」や「調和」を願う意味が込められています。

～小正月～

毎年1月15日頃に行われる日本の伝統的な行事で、正月の締めくくりとして家族の健康や一年の無病息災、豊作を願う日とされています。昔から、小正月には「小豆粥（あずきがゆ）」を食べる習慣がありました。小豆の赤い色には、邪気を払う力があると信じられており、体を清め、元気に一年を過ごせるようお願いを込めていただきます。



～くらしのこよみ 二十四節季～

一月

- 小寒（1/5頃） 「寒の入り」ともいわれ、世の中では「寒中見舞い」が送り交わされます。
- 大寒（1/20頃） 一年で最も寒さの厳しい時期とされています。この時期にあえて武道や水泳などの稽古を行うことを寒稽古といい、寒さに耐える体力とともに、精神力を養うのに最適な季節とされてきたようです。

